

平成 28 年度情報通信月間 総務大臣表彰

1 個人：5 件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
<p>しばさき りょうすけ 柴崎 亮介</p> <p>東京大学 空間情報科学研究センター 教授</p>	<p>「G 空間 × I C T 推進会議」の座長として、「G 空間 × I C T」によって我が国が目指すべき社会の姿を明らかにするとともに、その実現に向けて取り組むべきプロジェクトを提言するなど、「G 空間 × I C T 社会」の実現の推進に多大な貢献をした。</p>
<p>そ が く に ひ こ 曾我 邦彦</p> <p>一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会 顧問</p>	<p>一般社団法人安心ネットづくり促進協議会設立時より副会長を務め、P T A と電気通信事業者との橋渡し役として、両者連携による周知啓発活動等に主体的に取り組むなど、青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に向けた関係者の連携体制構築に多大な貢献をした。</p>
<p>たにかわ しろう 谷川 史郎</p> <p>株式会社 野村総合研究所 理事長</p>	<p>情報通信審議会委員をはじめ、「I C T 新事業創出推進会議」座長代理等を歴任し、あわせて「ふるさとテレワーク推進会議」の主査として「ふるさとテレワーク」を推進するなど、I C T の利活用促進に多大な貢献をした。</p>
<p>ながた み き 長田 三紀</p> <p>全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長</p>	<p>「I C T サービス安心・安全研究会」をはじめとした会合構成員等として、消費者視点での有益な助言を行い、電気通信分野における消費者保護に関する検討に尽力するなど、多年にわたり I C T サービスの安心・安全な利用環境整備の推進に多大な貢献をした。</p>
<p>やまうち ひろたか 山内 弘隆</p> <p>一橋大学大学院 商学研究科 教授</p>	<p>多年にわたり、情報通信審議会委員を務め、「2020-I C T 基盤政策特別部会」においては部会長等として、電気通信事業分野の制度見直しに向けた検討に主導的な役割を果たすなど、I C T 政策の重要事項の調査審議に寄与し、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p>

2 団体：2件

(敬称略)

団体名	功績の概要
G7香川・高松情報通信大臣会合推進協議会 (会長：浜田 <small>はまた</small> 恵造 <small>けいぞう</small>)	平成28年4月29日及び30日に開催された「G7香川・高松情報通信大臣会合」において、各国代表をもてなすとともに、県民・市民も参加した機運醸成に向けた様々な取組を実施するなど、会合運営を支援し、同会合の成功に多大な貢献をした。
特定非営利活動法人日本地域放送支援機構 (理事長：玉井 <small>たまい</small> 恒 <small>ひさし</small>)	東日本大震災以降、きめ細やかな地域情報の提供を通して被災地における地域コミュニティの復旧・復興に努めてきた臨時災害放送局に対して、開局当初より運用支援を継続することで、地域の安心・安全の向上及び被災地の復興に多大な貢献をした。

平成 28 年度情報通信月間 情報通信月間推進協議会会長表彰

○ 志田林三郎賞

個人：1 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
<p><small>あだち ふみゆき</small> 安達 文幸</p> <p>東北大学 電気通信研究機構 特任教授</p>	<p>災害に強い重層的通信ネットワークを実現するための研究開発に研究代表者として取り組んだほか、多年にわたり無線通信技術の研究開発に取り組み、W-CDMA 方式の研究開発において世界の先導に立つとともに、第 5 世代移動通信システムを推進するなど情報通信技術の発展に多大な貢献をした。</p>

○ 情報通信功績賞

1 個人：1 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
<p><small>うちなが こ</small> 内永 ゆか子</p> <p>特定非営利活動法人 ジャパン・ウィメンズ・イノベイティブ・ネットワーク 理事長</p>	<p>情報通信審議会情報通信政策部会 I o T 政策委員会における専門委員や総務大臣主宰の会合の構成員などを歴任するとともに、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部員として I T 国家創造宣言の改定に寄与するなど、多年にわたり情報通信政策に関する我が国が目指すべき方向性の検討やその推進に多大な貢献をした。</p>

2 団体：4 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
<p>一般社団法人 ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構</p> <p>(代表理事：<small>ごみ のりお</small> 五味 典雄)</p>	<p>群馬県前橋市における ICT 街づくり推進事業の実証成果を引き継ぎ、マイナンバーカードを活用した母子健康情報提供サービスの実現や他の地域への展開を進めるなど、ICT 街づくりの普及展開に多大な貢献をした。</p>
<p>塩尻市</p> <p>(市長：<small>おぐち としゆき</small> 小口 利幸)</p>	<p>センサーネットワークを活用した鳥獣被害対策や減災情報提供、子どもの見守りなど、地域における効果的な ICT 利活用の先進事例を構築するとともに、その普及展開に多大な貢献をした。</p>

氏 名	功績の概要
<p>真庭市</p> <p>(市長：太田 <small>おおた</small> 昇 <small>のぼる</small>)</p>	<p>クラウドシステムを活用することにより、森林の土地所有者情報や樹木の分布情報などを市役所と森林組合との間で共有する仕組みを構築し、大幅な業務効率化を実現するとともに、その普及展開に多大な貢献をした。</p>
<p>宮城県漁業協同組合</p> <p>(経営管理委員会 会長：丹野 <small>たんの</small> 一雄 <small>かずお</small>)</p>	<p>東日本大震災で被災した漁業用海岸局の復旧に際し、統合海岸局（※）をいち早く整備し、基幹産業である水産業の早期復興に尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p> <p>※従来の漁業用海岸局を集約し、通信エリアを広域化したもの</p>